



95人での新しいスタート！



今年は4月当初から暖かな日が続き、校舎の花々も入学式まで花を咲かせてくれていて、子供たちの入学や進級を待ち侘びていたかのようです。

入学や進級といった学年の節目は、自分自身を更に成長させるチャンスです。一人ひとりがこの一年間、学習や体験活動、遊びなど、いろんなことを経験し、更に大きく成長してくれることを期待しています。このような思いを込めて始業式では、次のようなお話をしました。

スタートにあたって！一つ目はみんなの力を一つにすること。コロナ禍でできないこともまだまだあるが、最上級生になった六年生をリーダーとして、95人の力を合わせて宇城一、いやいや日本一素晴らしい小野部田小をつくってほしい。二つ目は、お勉強をがんばることと、思いやりの心をもってほしいこと。ものごとには必ず理由がある。理由を考えるのがお勉強です。「なぜ？」と考えることができる人はお勉強が上手になります。また、人の心にも理由があります。お友達が悲しんでいる時には理由を考えてみましょう。それができる人はやさしい行動がとれます。それが思いやりのある人です。

職員紹介



前列左より、染森佳代子（養護教諭）池田穂乃花（新規採用、3年担任）富永繁巳（2年担任）村田眞澄（1年担任）三牧公久（県立教育センターより、校長）尾崎多佳子（教頭）立花幸生（4年担任）廣瀬俊彦（5年担任）鶴崎琢也（6年担任）沖村美幸（河江小より、事務職員）後

列左より、樋口バーギャ（ALT）楠本友加里（用務員兼図書司書）上田 恵（給食調理員）上木美喜子（給食調理員）野崎雪子（たんぽぽ学級担任）伊藤精一（県文化課より、たんぽぽ学級担任）吉川知輝（宇土小より、学習支援員）伊豫陽子（生活支援員）写真には写っていませんが、中村 結（スクールサポートスタッフ）緒方ゆう子（ICT 支援員）です。今年度20人のスタッフです。どうぞよろしくお祈りします！

校長ならびにタイトル紹介

四月一日に本校に新任校長として着任しました、三牧公久（みまき きみひさ）と申します。どうぞよろしくお祈りいたします。熊本市、宇城、玉名、県行政で教育に携わってきました。宇城は21年目になりますが旧小川町勤務は初めてです。新しく勤務する学校で、毎日新鮮な気持ちで過ごしています。

さて、今年度の学校通信のタイトルは「夢への挑戦」としました。この言葉は小野部田小の目指す子供たちの姿であり、また、昨年度まで熊本県学校支援チーム隊員として被災地支援に携わった経験から生まれた思いでもあります。全ての子供たちは、どの家庭や地域で育とうと、災害等の困難にでくわそうと、自分の夢へ挑戦できる権利がある。そのためには、子供たち一人ひとりが輝き自信をもつことが大切であり、そのお手伝いをしてあげるのが、私たち教職員の使命であると思っています。どうぞよろしくお祈りします。



ご入学おめでとうございます！



四月九日（金）に15人の新入生を迎え、入学式を行いました。今年度も感染防止のため、教職員と一年生、保護者のみの参加となりました。かわいい式服をまとい、少し緊張気味の一年生の姿に微笑ましさを感じました。子供は集団の中でさまざまな課題と出会いながら、少しずつ自立し、同時に社会性を育んでいきます。学校は家庭と連携し、地域の皆様の協力をいただきながら、子供たちを健やかに育てていきたいと思ひます。

